

エゾマツ



No.61 2002. 6. 26

北海道ボランティア・レンジャー協議会



1. 巻頭言 森の語り部 (べ)	会長 川端 功治	(1)
2. 会員の声		(3)
3. 何時もの春、今年の春	須賀 盛典	(4)
4. マングローブって何?	小林 英世	(6)
5. キーワード		(10)
7. 第17回定期総会議案書		(12)
8. 観察会研修会情報		(22)
9. 編集後記		(25)

森の語り部 (べ)

会長 川端 功治

観察会で歩きながら、参加者の皆さんに、浦島太郎が玉手箱をあけたらどんな事が起きましたか、と聞いてご覧なさい。異口同音に白髪の老人に成りましたと答えるでしょうが、昔の語り部は真っ白な鶴になりましたと答えます。

三年もの長きに渡って乙姫様のご馳走や歌舞音曲の接待を受けましたが、生物界の一年は人間界の300年にあたりますので、望郷のあまり止める乙姫の手を振り切って帰郷したが、知る人も無く、悲嘆のあまり玉手箱を開けて仕舞いました。

それを読んでいた乙姫は、思い出の出会いの浜辺で、途方に暮れている鶴になった浦島太郎を迎えにやってきました。その亀こそ、乙姫に変身していた亀だったのです。再会を喜び合い、千年も万年もの長きに渡って幸せに暮らしたと語り部は結んでおります。それで今尚も、婚礼の祝い言葉やお祝い品にデザイン化され歌曲に「鶴は千年、亀は万年」と歌いこまれています。

出典は古事記の頃らしいが当時、文化の伝達を司る語り部(かたりべ)という公的機関が活躍してこの物語が伝えられたとされていて、庶民の場合は語り部として、祭文、浄瑠璃、琵琶、浪速節、に伝承され、山間僻地はお年寄りが、語り部の役目を果たしました。

ところがお爺ちゃんお婆の語り部になると孫可愛さに、勧善懲悪の教訓が折り込まれたのです。当初浜辺で子供らに苛められている亀が、浦島太郎に助けられた事になっていますが、この物語は壮大な生物愛が発想の原点にあり、生き物を苛めることは許されないことで、出典にはありません。

原始の時代に、海から這い上がった同じ仲間が助けあって生き延びて今日があるのですから今更環境保全とか自然保護は可笑しいことなのですが、ダイオキシンのCO₂等は、なんとかしなければ明日は無いです。

とにかく行動することです。幸いなことにゴミ拾いも兼ねた観察会を開催すると、

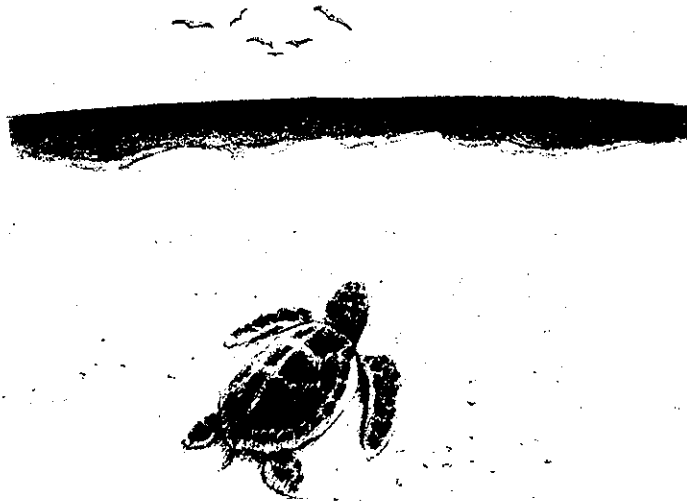
ゴミ挟とゴミ袋を持った参加者が多数参加してくれます。

各種のツアーで事故が散発しておりますが、引率したツアーガイドの責任に帰するものがあり、些か緊張させられます。

行政も対策に乗り出しており、救急法の普及や、ガイドテクニックの再研修、資格試験制度の導入等が検討されています。

願わくば単なるベーパードライバーの量産では無く、メリハリの効いた語り部のお兄さんお姉さん、叔父さんお叔母さんがツアーガイドに育成されることが望ましいと思われます。学問を専門に研究する場合は別にあります。単なる道案内人は専門職が居ります。

観察会参加者は喜怒哀楽を共にしながら一日の癒しを求めて集まってくるわけですから、それに応えなければならないと思います。その時には熱心な聞き手になり或いは語り部になって（その場にまるきり関係のない浦島太郎の話でも案外聞き耳を立ててくれます）お喋りすると和むものなのです。会員各位のご健闘を祈ります。



会員の声

札幌市厚別区 久志本 アイ

ボランティア・レンジャー協議会に入会して2年、観察会・下見会は貴重な研修の場としてでき得る限り参加を心がけ、諸先輩の皆さんに快くご指導いただいております。大変感謝しております。

しかし、私の力量たらずで、観察会参加者のレベルの高さにとまどっているばかりです。石の上にも3年！きっと私なりの道が開けることを信じて前進です。

今年度は会のお手伝いをさせていただくことで、皆様に感謝の心をお伝えしたいと思います。

砂川市 藤永 友治

定年退職して丁度10年、今は市老連の会長として地域の活動に忙しい毎日です。道央自動車道の砂川サービスエリア、自然豊かな石山(237 ㍎)道立子供の国のすぐそばに住んでおり、日常の自然観察には事欠きませんが、会の行事になかなか参加できないのが残念です。今年から、学校五日制になり、子供達と地域との関わりがさらに密接になりますが、老人クラブの仲間と子供達と一緒に自然と親しむ機会を持ちたいものと、現在思案中です。

旭川市 沖館 紀子

環境庁主催「スターウォッチング」が、今年度は、一月四日～十七日と例年に比べ二週間も早まりました。暖冬とはいえ、私にとっては久しぶりの『冬場の観察会』。幸か不幸か(もちろん不幸なことに)……。この時期は天候が悪いです……。私は一度しか観察出来ませんでした。でも、オリオン・ふたご・おうし座の星々にまじって、土星と木星が明るい輝きを放っていました。寒さを忘れる？ 一瞬です。

何時もの春、今年の春

江別市 須賀盛典

今年は雪どけも早く、野幌森林公園では4月半ば遊歩道の雪はほとんどなく、一部に僅か残っている程度でした。フクジュ草、エゾエンゴサク、ナニワズなど早春の草花は何時になく咲き誇っていました。道ですれ違う人との挨拶も”今年は春が早く、暖かいですね”と

何時もの春ですと、3月ともなると大陸の高気圧も陰りを見せ始め、移動性高気圧となつて低気圧と交互に日本にやつて来るようになる。4月に入るとその回数も多くなり、暖かい天気が続いたとおもつたら冷たい雨が降ったり、時には雪となり、ふくらみ始めた桜のつぼみが心配になる。そうして5月も半ばを過ぎる頃になると暦はサクラゴヨミからライラックゴヨミと移り変わり、本州方面を東に抜けた移動性高気圧が北太平洋に居座り、黒潮のエネルギーをもらって小笠原高気圧と変わる。まだ赤子とはいえず蛙の子は蛙、この高気圧に覆われると北海道でも初夏どころか真夏並の暑さの”バカ陽気”となる。逆にシベリヤ方面からオホーツク海に進んできた高気圧は、湿った冷たいオホーツク海高気圧に変わり、これに覆われるようになると、冷たいどんよりとした”リラ冷え”の天気となる。

今年の春を桜前線の到達で見てみる、北海道の主な地点の開花日は气象台や測候所の観測では別表のようになつている。桜の開花はその前30～40日間の気温と密接に関係し、日平均気温が北海道では10℃前後で咲くといわれている。いうなれば自然の積算温度計でもある。見方を変れば季節の遅れ進みに敏感で気候を知るための植物として優れている。また、全国いたる所で広く分布している。樹冠が高いから局地的影響をうけにくいので広範囲の気候の目安となる。そのうえ「サクラ折るバカ、ウメ折らぬバカ」といわれるように人為的な因子の入ることがない。そろつて咲くので開花日がわかりやすい。などが利点としてあげられている。

日本列島を異例なスピードで北上してきた桜前線は、4月18日何時もの年(*平年値)より15日も早く函館、江差に上陸した。札幌は何時もの年だと大型連休の5月5日なのに13日も早い4月22日、稚内にいたっては17日も、冷たい千島海流に洗われている釧路で8日おなじく根室で12日と、札幌を始め大部分の地点で桜の観測を始めた1953年以降最も早い開花であつた。なお、札幌の13日間のずれは日平均気温の平年値では3℃の違いがある。

*平年値:1971~2000年の30年間の平均値で10年毎に更新される。

また、今年の札幌の2、3、4の各月の月平均気温は気象台の観測によると2月は観測史上1位の-0.6℃、3月は2位の2.5℃、4月も1位の9.6℃とかなり暖かった。この3か月の平均を平年値のそれと比べると2.7℃の差となり、桜の開花日の13日のずれと見合う。

札幌の気象観測は1876年(明治9年)9月1日当時札幌農学校二代目教頭ウイリアム・ホイラーが気象観測を始めたのが札幌測候所の発端となつている。従つて史上1位は1877年の春以降126年間では一番暖かい春を経験したことになる。また、札幌のライラックの開花も気象台の観測では5月5日で平年値より15日も早かった。何時もの春だとサクラの咲く大型連休にサクラでなくライラックが咲きだし、サクラゴヨミからライラックゴヨミへと移りテンポの早い暖かい春であつた。5月20日発表の3か月予報によると、今年の夏は平年並とか、昨年の夏は札幌では真夏日がなかったと記憶しているが、今年は期待できそうだ。

別表 道内桜の開花日(2002年)

地名	開花日	平年差	地名	開花日	平年差
	月 日	日		月 日	日
函館(a)	4.18	- 15	浦河(b)	4.28	- 13
江差(a)	4.18	- 15	帯広(b)	4.24	- 13
室蘭(a)	4.23	- 15	網走(b)	4.29	- 14
札幌(a)	4.22	- 13	稚内(b)	4.29	- 17
岩見沢(b)	4.22	- 12	釧路(b)	5.10	- 8
旭川(b)	4.23	- 14	根室(c)	5. 8	- 12

()内 a:ソメイヨシノ b:エゾヤマザクラ c:チシマザクラ -:早い

マングローブって何？

恵庭市 小林英世

今年の3月30日から4月3日にかけて沖縄に旅行へ行ってきました。以前から興味があったマングローブを見てみようと思ひ色々調べていると、宿泊先のホテルで行っている企画ツアーの中に、マングローブカヤックツアーなるものを見つけ、ホテルに着いた翌日早々申し込みをし、沖縄県国頭郡東村字慶佐次湾の国の天然記念物に指定されている、マングローブ林を見に行く事にしました。4月1日朝8時集合、息子と二人そそくさと朝食を済ませ集合場所のホテルのロビーに、私達親子のほかに4人家族が1組、中国人の新婚さんの計8人、それにガイドスタッフの女性が2人の計10人、ホテル前に止めてあるワゴン車に乗り込みいざ出発。20分ほどで慶佐次湾に到着。マングローブを見に行く事ができました。着いて早々マングローブについての説明、「マングローブという植物があると思ひますか？」とスタッフからの質問、入り口のヒルギ公園と書かれたカニのモニュメントからすると、マングローブなる植物は



存在しない感じ 答えは以下のとおり。

- ・マングローブとは、熱帯の海岸沿いの海水と淡水が混じりあう場所に生育する植物の総称です。
- ・高山植物という名前の植物はないのと同様に、マングローブというのは一つの木の名前ではなく、潮の満ち干にさらされる海岸や河口近くの植物全体を指す言葉なのです。
- ・マングローブと呼ばれる植物は熱帯や亜熱帯に90~100種類ほどあります。
- ・日本では、沖縄県を中心に分布していて、北限は鹿児島県となっています。

慶佐次湾に生育するヒルギは、オヒルギ、メヒルギ、ヤエヤマヒルギの3種類で、これらをシーカヤックに乗りながら見てきました。北海道には無い風景に感動し、また、初めてのカヤック体験を大いに楽しみました。

マングローブの特徴

耐塩性（塩排斥機能）

マングローブは普通の植物が生育できないような高い濃度の塩水につかっている。このため、マングローブを構成する種はその種によって次のようないずれかの塩排斥機能を持っている。

1. 葉にある塩類腺から塩分を排泄
2. 塩分をろ過するもの
3. 体内が多汁質であり塩分を薄めるもの
4. 塩分を古い葉に集めて、その葉を落とすもの



胎生種子

マングローブが生活する環境では、普通の種子を作ったのでは海洋を漂い、発芽力がなくなるか、水に沈んで発芽しても酸素がないため成長できない。つまり、次の世代を残すことはできない。マングローブの主な種は母樹に種がくっついていて、この時点で発芽させ、この芽に栄養を送る。このような種子を胎生種子という。胎生種子は細長く成長しやがて落下する。泥にささって定着するか、水で散布され、根などに絡まり安定し、発根をはじめ。

←ヤエヤマヒルギの胎生種子。スケールは1目盛10cm.

(2000.8 石垣島 吹通川)



胎生種子が泥にささって双葉が出

ている状況。

(2000. 8 石垣島 吹通川)



根の特殊な形状・機能

植物は根でも呼吸している。水中のシルト中では酸素を取り込めないで、干潮時に酸素を取り込んでおく必要がある。支柱根、膝根、呼吸根などのこれらの根はそのような空気をためておく役目も果たす。また、軟弱なシルトなどの上に成立するため、大きな体を支える工夫がある。このため、たこの

足のような根発達させたとも考えられる。

(2000. 2 石垣島 宮良川)

マングローブの種類・分布

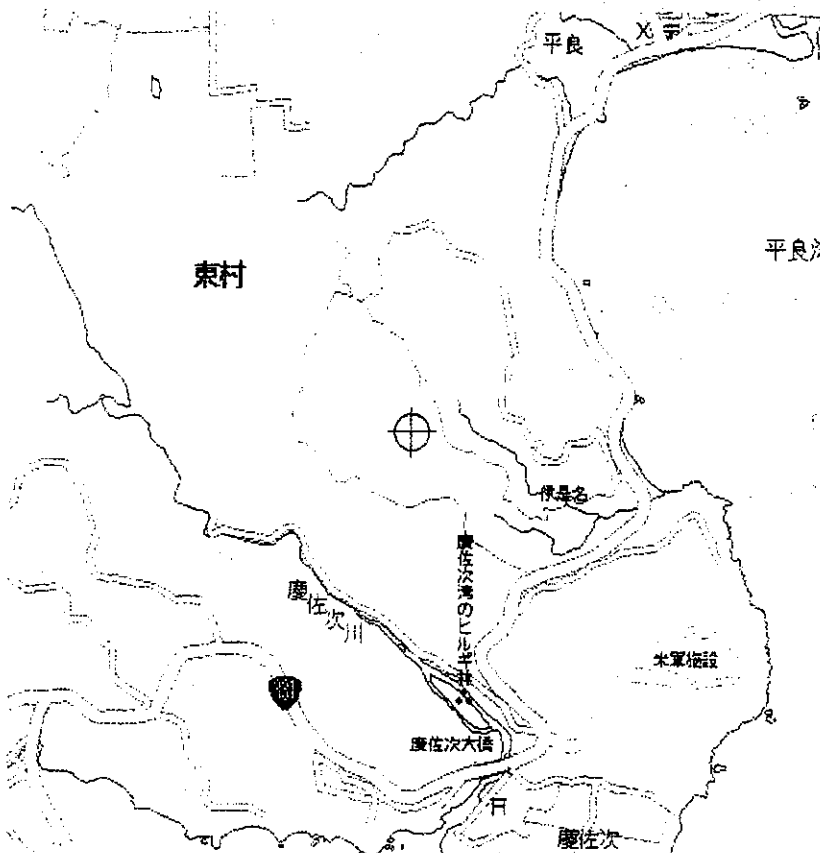
世界に約 90 種類が知られ、このうちヒルギ科、クマツヅラ科、マヤブシキ科の 3 科で 50% 以上のマングローブの種類を占める。日本には 6 種が分布している。西表島ではこの 6 種全部がみられ、日本の北限の鹿児島県喜入町ではメヒルギだけがみられ、天然記念物に指定されている。

インドネシアでは高さが 40m の達するものがあるが、日本では高いもので 7m 程度である。一般的には、亜熱帯から熱帯の割合大きな島で、陸地から土壌が河

川等によって供給されやすく、しかも後背地がゆるやかな地域である。こうした地域ではマングローブ林に泥土が堆積し、海に向かって陸化が進んでいる。

マングローブの生態系

マングローブ生態系では樹木が主な生産者であり、その落ち葉など葉直接植食性のカニ類やキバウミニナが食べる。その糞は巻貝類、カニ類、エビ類に食べられたり、分解者に分解され栄養塩類となって水に溶ける。植食性の小動物は肉食性の魚類や甲殻類に、さらにこれらの動物はより大型の肉食魚介類に食べられる。マングローブの生態系はサンゴ礁のそれとともにバランスを保っているのである。



キーワード



レッドデータブック

生物の種には栄枯盛衰があり、生物学的にはどんな種もいずれは絶滅の時を迎えます。種の絶滅は進化と裏表の関係にあり決して特殊な関係ではないのです。

絶滅の原因はいろいろありますが、環境の変化への不適合や、より進化した種の競争における敗北などがあげられています。

現在においても、大量の生物絶滅の時代と言われていています。ただし、過去の絶滅と異なることは、その原因が人間の活動の結果であること、そして絶滅のスピードが桁違いに早いということです。あるデータによると西暦1600年以降に絶滅した哺乳類は少なくとも46種、鳥類105種であると推定されています。

全個体数が種の存続を脅かすまでに少なくなり絶滅に瀕している種を広義の絶滅危惧種とし、その状況に応じてランクづけし、リストアップしたものをレッドリストといい、種ごとのデータを加えて書物にまとめたものをレッドデータブックとよんでいます。レッドデータブックは種の存続に対する赤信号の意を込めて赤い表紙がつけられています。会員の中にもこの書を見た方も多いことでしょう。

絶滅危惧種のランクづけ（カテゴリー区分）の基準と世界的なレッドデータブックの作成は国際自然保護連合（IUCN）がおこなっています。

日本版の植物レッドデータブックは1989年に日本自然保護協会・世界自然保護基金日本委員会が刊行した「わが国における保護上重要な植物種の現状」が初めてで、動物については環境省自然保護局編の「日本の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブック」が刊行されています。

また、環境省は2000年に新基準に基づく新しい植物版レッドリストを発表しています。それによると日本産の維管束植物（種子植物とシダ植物）約7000種（亜種・変種を含む）のうち、1887種（27%）が広義の絶滅危惧種にふくま

れていて、日本の野生植物の危機的な状況が明らかにされています。

植物を絶滅に追いやる原因の多くは人間の活動の結果であり、自然環境の破壊にあることは言うまでもないことです。また、本来植物を愛する人たちであるべき愛好者が、野草を採取し自分の庭に野草を持ち込む行為が野生植物を絶滅に追いやる原因にもなっています。

私たちの活動も観察会を通して、絶滅の恐れのある植物の保護の必要性をPRしていく努力をしていきましょう。

行政サイドでも、今年の5月22日、道環境審議会の答申を受け「道希少野生動物の保護に関する条例」に基づき7種の植物を特定希少動植物に指定して、保護に努めています。

特定希少動植物

- ・キバナノアツモリソウ ・キリギシソウ ・ヤチラン ・ヒダカソウ
- ・ユウバリコザクラ ・ウルップソウ ・ユウバリソウ

野生種を絶滅の危機に追いやる原因（2000年環境庁発表）

	要因	メッシュ合計	
開 発	森林伐採	2339	13.7%
	池沼開発	811	4.7%
	河川開発	502	2.9%
	海岸開発	353	2.1%
	湿地開発	947	5.5%
	草地開発	845	4.9%
	石灰採掘	45	0.3%
	ゴルフ場	37	0.2%
	スキー場	5	0.0%
	土地造成	1257	7.4%
汚 染	道路工事	1283	7.5%
	ダム建設	30	0.2%
採 取	水質汚濁	371	2.2%
	農薬汚染	217	1.3%
そ の 他	園芸採取	4137	24.2%
	業用採取	40	0.2%
	踏みつけ	365	2.1%
	動物食害	12	0.1%
	管理放棄	218	1.3%
	自然遷移	2514	14.7%
	火山噴火	3	0.0%
	帰化競合	45	0.3%
	産地極限	476	2.8%
	その他	238	1.4%
不明	0	0.0%	
		17090	100.0%

※表4-6におけるメッシュとは、国土地理院の2万5千分の1地形図を基本とし、島部などについて微修正を加えたある一定の面積であり、上図では日本国土を計4,457メッシュに分割し出たデータとする。

北海道ボランティア協議会

第17回定期総会議案書

とき 平成14年4月6日(土) 15時～17時
ところ かでる2.7 7階 710号会議室
札幌市中央区北2条西7丁目 電話 011-231-4111

北海道ボランティア協議会事務局

〒061-2284 札幌市南区藤野4条7丁目277-74

電話 FAX 011-592-4222

平成14年度第17回北海道ボランティア・レンジャー協議会定期総会

日時 平成14年4月6日 (土)

受付 13:00—13:30

研修会 13:40—14:40

総会 15:00—17:00

場所 かでる2.7 7階 710号会議室

研修会 「自然を楽しむ」

講師 北海道環境室自然環境課 自然ふれあい係長 長尾 康 様

定期総会 司会進行 総務部

定期総会次第 出席 委任状 総会成立確認 総務部

1. 開会のことば 田村副会長
2. 会長挨拶 川端会長来賓挨拶と紹介
北海道環境生活部環境室自然環境課 自然ふれあい係長 長尾 康 様
野幌森林公園事務所次長 中村 房敏 様
公園利用課長 阿部 好数 様
主任 永安 芳江 様
福井 拓郎 様
3. 議長選出と議事録署名人の選出
4. 議長就任挨拶と議事録署名人の紹介
5. 議事
議案1 平成13年度の事業報告
議案2 平成13年度の決算報告及び監査報告
議案3 平成14年度の事業計画案
議案4 平成14年度の予算案
議案5 役員改選
7. 議長退任
8. 閉会の言葉 五十嵐副会長

連絡事項

(1) 平成 13 年度事業報告

1. 北海道ボランティア協議会第 16 回定期総会 会員 148 名 出席、委任 117 名
平成 13 年 4 月 7 日（土）15：00－17：00 かでる 2.7 出席者 34 名委任 83 名
以上により会則第 17 条を充足し総会は成立した。
2. 北海道ボランティア協議会役員会
第 1 回平成 13 年 5 月 17 日サポートセンター
第 2 回平成 13 年 9 月 28 日サポートセンター
第 3 回平成 14 年 1 月 19 日サポートセンター
第 4 回平成 14 年 3 月 19 日サポートセンター、
3. 自然観察会 * 野幌森林公園内での観察会は公園事務所の協力を得ています
● ありがとう観察会 平成 13 年 5 月 13 日（日） 野幌公園（事）と共催
● 野幌自然観察会 平成 13 年 6 月 3 日（日） 環境月間協力行事
北海道と共催
● 恵庭自然観察会 平成 13 年 6 月 17 日（日）
● ニセコ自然観察会 平成 13 年 7 月 1 日（日） 地方支部との協力
● 真駒内自然観察会 平成 13 年 7 月 29 日（日）
● 利根別自然観察会 平成 13 年 8 月 26 日（日）
● 野幌自然観察の集い 平成 13 年 9 月 9 日（日）
● ありがとう観察会 平成 13 年 11 月 11 日（日） 野幌公園（事）と共催
● 野幌の冬の観察会 平成 14 年 3 月 24 日（日）

4. 会員研修

(ア) 平成 13 年 4 月 8 日定期総会の前研修会「北海道の自然」
講師 斎藤 利美 氏

(イ) 北海道環境財団助成金により、研修会を 2 種類

合計 6 回実施した。

「よく似た植物の見分け方」 講師村野道子氏 2 回
田城敏雄氏による「蝶、昆虫、菌類の観察」研修会 4 回

村野道子氏による「よく似た植物の見分けかた」研修会

村野道子さんは、写真家の梅沢俊さんと共著で「絵とき検索表」1 北海道
初夏の花 2 春の花 3 夏と秋の花を出版しております。

村野道子さんは、植物画家で、今回発売される稀少植物保護記念切手、奥尻エビ
ネの絵 をデザインしております。

	研修会の名前	日時	参加者	集合の場所
1 回 目	よく似た植物の見分けかた	6月24日(日) 10:00~14:00	20	野幌森林公園 大沢口
2 回 目	よく似た植物の見分けかた	7月8日(日) 10:00~14:00	18	野幌森林公園 大沢口

田城敏雄氏による「蝶、昆虫、菌類の観察」研修会

田城敏雄さんは、長年のわたりJR防雪林業務に携わり、その傍ら蝶、昆虫、菌類の観察の観察に興味をもち、趣味の域を越えた研究をされている方です。

今回は、観察会の下見会と併行して、4回開催しました。

	研修会の名前	日時	参加者	集合の場所
1 回 目	蝶、昆虫、菌類の観察	6月2日(土) 10:00~	17	野幌森林公園 森の自然教室前
2 回 目	蝶、昆虫、菌類の観察	7月14日(土) 10:00~	18	野幌森林公園 大沢口
3 回 目	蝶、昆虫、菌類の観察	8月2日(木) 10:00~	19	野幌森林公園 開拓記念館前
4 回 目	蝶、昆虫、菌類の観察	9月8日(土) 10:00~	16	野幌森林公園 森の自然教室前

(ウ) 佐々木幸夫顧問のご好意により野幌森林公園にて、シダ類の勉強会を8月19日開催した、講師はさっぽろ自然調査官主任技師 丹羽真一氏、人数に制限があり当会より10数名参加し資料は会員全員に会報に同封の上、配布した。9月16日前回の受講者を講師にシダ類の勉強会を21名参加で行う。

(エ) 研修部主催 支笏湖畔研修会9月22日~23日19名参加、22日の講師は当会の佐々木顧問で、午後1時30分4時まで支笏湖野鳥の森自然探勝路を観察、6時より懇親会。23日は6時30分よりばどウオッチング、10時解散

(オ) 自然観察会の下見 会員研修の実施と位置付けている

(カ) 交流会 ニセコ自然観察会の下見のあと、懇談、スライド上映平成13,6,3

(キ) 網走観察会研修部小林部長参加10月13日~14日

5. 会報「エゾマツ」の発行

第57号 平成13年6月25日 第58号 平成13年10月15日

第59号 平成14年1月20日 第60号 平成14年3月31日

6. 支部・地方幹事との関連

(ア) ニセコ、恵庭の観察会での協力を得る。

(イ) 後志小樽地区において、北原会員が中心となり下記の観察会を開催した
末尾の数字はレンジャーと参加者の数

- 天狗山～オコバチ山 平成 14 年 2 月 23 日 (土) 7+1
- 奥沢水源地 裏山 平成 14 年 3 月 16 日 (上) 12+1
- 旭展望台～市有林 平成 13 年 5 月 12 日 (土) 19+4
- 塩谷丸山 平成 13 年 5 月 27 日 (土) 44+1
- ニセコ 平成 13 年 6 月 17 日 (土) 22+3
- 余市岳 平成 13 年 6 月 30 日 (土) 34+4
- 野幌森林公園 平成 13 年 7 月 14 日 (土) 23+4
- 赤岩～オタモイ海岸 平成 13 年 8 月 4 日 (土) 20+3

7. 関連団体への参加と協力

(ア) 北海道野幌森林公園事務所主催の「森の観察会」への協力

- 4 月の森の観察会 平成 13 年 4 月 12 日 (木)
- ありがとう観察会 平成 13 年 5 月 13 日 (日) 道ボと共催
- 野幌自然観察会 平成 13 年 6 月 3 日 (日) 環境月間協力行事
北海道と共催
- 7 月の森の観察会 平成 13 年 7 月 15 日 (日)
- 8 月の森の観察会 平成 13 年 8 月 9 日 (木)
- 秋の森の観察会 平成 13 年 10 月 14 日 (日)
- ありがとう観察会 平成 13 年 11 月 11 日 (日) 道ボと共催
- 12 月の森の観察会 平成 13 年 12 月 6 日 (木)
- 1 月の森の観察会 平成 13 年 1 月 17 日 (木)
- 冬の森の観察会 平成 13 年 2 月 24 日 (日)

(イ) ジーエス販売、千代田電装より各 10 万円の寄付あり、成田会員の紹介 4 月 3 日

(ウ) 自然環境課育成研修打合せ 川端 五十嵐 佐藤 4 月 18 日

北海道ボランティアレンジャー育成研修会 網走、協力 6 月 29～7 月 1 日 川端会長、
五十嵐副会長、小林研修部長が夫々講師、講習会の補佐として参加した

(エ) 環境道民会議 川端会長 4 月 19 日

(オ) 環境財団より研修会交付金通知 ￥55,000

(カ) ふれあい交流館オープン記念式典 川端会長 4 月 28 日

(キ) 共通運送株式会社より 10 万円の寄付あり 成田会員の紹介 5 月 2 日

(ク) 東野幌小学校児童 160 名自然観察指導 野幌森林公園 6 月 28 日

(ケ) 江別市立第二小学校 130 名課外学習 10 月 6 日 協力 レンジャー 10 名

(コ) 岩見沢道有林カンリセンターより野幌森林公園観察会協力依頼 50 名川端、矢鳥、
佐藤 10 月 21 日

(サ) マレーシャ小さな国際親善大使、野幌森林公園観察会協力依頼 川端 佐藤

(シ) 野幌森林公園クマゲラー斉調査への協力 平成 14 年 3 月 10 日

(ス) 市民と共に考える森作り トーク ポスター 協力 事務局 2 月 17 日

8. 備品 携帯無線機 2 台一組 事務局保管、双眼鏡 15 台 望遠鏡 2 台
聴診器 5 本 携帯救急医療箱 1 個 以上野幌森林公園事務所公園課保管

聴診器 5 本 携帯救急医療箱 1 個 以上野幌森林公園事務所公園課保管
 事務局保管 ファクス電話 2 台 (広報部長宅 研修部長宅)
 コピー機 1 台 事務局

観察会参加者、協力レンジャー、公園事務所 の数

観察会の名前	本番の日時	主催協力その他	参加者数	道ボ、公園
4月の森の観察会	4月12日(木) 10:00~12:00	(主)森林公園事務所 (協)道ボランティア協	30	13 4
森の恵みに感謝しゴミ拾い ありがとう観察会	5月13日(日) 10:00~14:30	(共)森林公園事務所 (共)道ボランティア協	34	15 2
環境月間協力行事 野幌自然観察会	6月3日(日) 10:00~12:00	(共)北海道 (共)道ボランティア協	32	10 7
恵庭自然観察会	6月17日(日) 10:00~12:00	(主)道ボランティア協	12	7
ニセコ神仙沼自然観察会 交流会を6/30夜ペンシ ョンぶきのとうで開催	7月1日(日) 11:00~14:00	(主)道ボランティア協 (協)ニセコ自然の会	15	7 4
夏の森の観察会	7月15日(日) 10:00~14:30	(主)森林公園事務所 (協)道ボランティア協	26	15 3
真駒内自然観察会	7月29日(日) 10:00~12:00	(主)道ボランティア協	40	5
8月の森の観察会	8月9日(木) 10:00~12:00	(主)森林公園事務所 (協)道ボランティア協	46	9 3
利根別自然観察会	8月26日(日) 10:00~12:00	(主)道ボランティア協	11	11
野幌自然観察会の集い	9月9日(日) 10:00~12:00	(主)道ボランティア協 (協)森林公園事務所	29	12 3
秋の森の観察会	10月14日(日) 10:00~14:30	(主)森林公園事務所 (協)道ボランティア協	46	12 2
森の恵みに感謝しゴミ拾い ありがとう観察会	11月11日(月) 10:00~14:30	(共)森林公園事務所 (共)道ボランティア協	49	19 5
12月の森の観察会	12月6日(木) 10:00~12:00	(主)森林公園事務所 (協)道ボランティア協	30	9 4

1月の森の観察会	平成14年 1月17日(木) 10:00~12:00	(主)森林公園事務所 (協)道ボランティア協	29	6	5
冬の森の観察会	平成14年 2月24日(日) 10:00~14:30	(主)森林公園事務所 (協)道ボランティア協	32	6	2
野幌早春の森	平成14年 3月24日(日) 10:00~12:00	(主)道ボランティア協 (協)森林公園事務所	40	11	2

議案(2) 平成13年度決算報告及び監査報告

平成13年度決算報告

収入の部

単位:円

項目	予算額	決算額	差額	摘要
前年度繰越金	369.461	369.461	0	
年会費	450.000	417.000	▲33.000	142名 新入会員2,000
雑収入	80.539	364.138	283.599	寄付金3社 環境財団の助成金54,600を活動費に 繰入した(400円振込手数料)
合計	900.000	1,150.599	250.599	

支出の部

単位:円

項目	予算額	決算額	差額	摘要
総務部費	130.000	110.042	19.958	通信費 役員会総会会場費 役員会交通費 事務用品 交通費
事務局費	100.000	52.653	47.347	通信費 交通費 記録写真 パソコンインク ほか 送料
研修部費	120.000	82.237	37.763	研修会賛助金 通信費 地方支部交流交通費 記録写真
活動費	154.600	189.675	-35.075	研修会講師謝礼 観察会交通費 地方支部賛 助金 記録写真
広報部費	200.000	198.556	1.444	会報エゾマツ制作送料 通信費
予備費	100.000	0	100.000	
特別会計	150.000	150.000	0	20周年記念企画積立金
合計	954.600	783.163	171.437	

収支残高

単位：円

項目	収入	支出	残高
実績	1,150,599	783,163	367,436

¥367,436 を次年度への繰越金とする

特別会計 20周年記念準備金

単位：円


年月	項目	金額	
13年3月	前年繰越金	490,434	利子 284円
14年3月	一般会計より繰入	150,000	
合計		640,434	

保有資産 ファックス2台 コピー機 1台
 寄贈を受けた品 携帯無線機2台一組 事務局保管、双眼鏡15台 望遠鏡
 2台 聴診器5本 携帯救急医療箱1個

平成13年度監査報告

監査報告につきまして、諸帳簿ならびに領収書などにつき、つぶさに確認、照合しましたが、相違なく正確かつ適正であることを認め、監査報告とします。

平成14年3月28日

監事 猪俣 勉 
 監事 小泉 郁夫

議案(3) 平成14年度事業計画案

- 北海道ボランティア協議会第14回定期総会
平成14年4月6日(土)かでの2.7で開催
- 北海道ボランティア協議会理事会を年4回開催する、三役会は必要に応じて開催する
- 自然観察会 * 野幌森林公園内での観察会は公園事務所の協力を得ています
 野幌森林公園ありがとう観察会 平成14年5月12日(日) 野幌公園(事)共催
 野幌自然観察会 平成14年6月2日(日) 環境月間協力行事
 恵庭自然観察会 平成14年6月16日(日)
 富良野原始が原 平成14年7月18日(日)
 マ駒内自然観察会 平成14年7月28日(日)
 利根別自然観察会 平成14年8月25日(日)
 野幌自然観察の集い 平成14年9月8日(日)

北見若松ハイランド 平成14年9月21日(土)～22日(日)
野幌森林公園ありがとう観察会 平成14年11月10日(日) 野幌公園(事)共催
野幌早春の森 平成15年3月23日(日)

4. 会員研修

宿泊研修会を然別湖で行う予定 9月～10月
自然観察会の下見を会員研修と位置づけている

5. 会報「エゾマツ」の発行と活動の方針

キャンペーンスローガン「自然との共存、日常の実践から」おテーマにしたい
「私の一名山」をシリーズものとして継続していきたい
気軽に投稿してもらう条件整備を考えていきたい
冊子の体裁、レイアウトの工夫を重ねていきたい
紀要発行の具体化に目途をつけたい
年4回の発行をします。

発行日 6月中旬 10月中旬 1月中旬 3月下旬

6. 支部、地方幹事との連携

小樽地区では昨年同様、北原、真壁会員を中心に年間8回程度の観察会を、行う予定
です、詳しくは小樽北原会員にお問い合わせください

4月 赤岩～オタモイ海岸

5月 勝内川上流～松倉山

6月 神居尻山

7月 塩谷丸山

8月 札幌藻岩山

9月 余市岳

10月 オコバチャヤマ～穴瀧～天神町

11月 私有林内

7. 野幌の森ありがとう観察会 野幌森林公園事務所との共催は昨年同様下記の日程で行
います。

平成14年5月12日(日) 10:00～14:30 大沢口

平成14年11月10日(日) 10:00～14:30 大沢口

8. 野幌森林公園事務所主催の観察会への協力及び参加

森の観察会 日曜日実施

- ありがとう観察会 平成14年5月12日 ボラレンと共催
- 夏の森の観察会 平成14年8月11日
- 秋の森の観察会 平成14年10月20日
- ありがとう観察会 平成14年11月10日 ボラレンと共催
- 冬の森の観察会 平成15年2月9日

森の観察会 木曜日実施

- 4月の森の観察会 平成14年4月18日
- 7月の森の観察会 平成14年7月18日
- 9月の森の観察会 平成14年9月19日

● 12月の森の観察会 平成14年12月19日

9. 各関係機関、団体が行う自然保護、環境の保全に係わる調査、研修への協力、参加

議案(4)平成14年度予算案

収入の部

単位：円

項目	予算額	摘要
前年度繰越金	367.436	会員150名 寄付金など
年会費	450.000	
雑収入	132.564	
合計	950.000	

支出の部

単位：円

項目	予算額	摘要
総務部費	120.000	通信費 会議室借用費 役員会交通費
事務局費	160.000	通信費 事務用品費 事務資料費 コピー機
研修部費	120.000	研修会謝礼費
活動費	100.000	地方支部活動費 観察会交通費
広報部費	200.000	会報エゾマツ制作 郵送費
予備費	100.000	
特別会計	150.000	20周年記念準備金
合計	950.000	

特別会計

単位：円

項目	予算額	前年度繰越	合計	摘要
20周年記念準備金	150.000	640.434	790.434	
合計	150.000	640.434	790.434	

議案(6)役員改選

観察会・研修会情報

平成14年度に主催・協力する自然観察会

観察会の名称	日	時	下	見	集合場所	備考
4月の森の観察会	4月18日(木)	10:00~12:00	4月11日(木)	10:00~	野幌森林公園公園 開拓記念館前	協力
ありがとう観察会	5月12日(日)	10:00~14:30	5月11日(土)	10:00~	野幌森林公園公園 ふれあい交流館前	共催
野幌自然観察会	6月2日(日)	10:00~12:00	6月1日(土)	10:00~	野幌森林公園公園 森の自然教室前	共催
恵庭自然観察会	6月16日(日)	10:00~12:00	6月15日(土)	10:00~	恵庭公園駐車場	主催
富良野 原始が原観察会	6月30日(日)	10:00~12:00	6月29日(土)	13:00~	富良野 原始が原登山口	主催
7月の森の観察会	7月18日(木)	10:00~12:00	7月11日(木)	10:00~	野幌森林公園公園 開拓記念館前	協力
真駒内自然観察会	7月28日(日)	10:00~12:00	7月27日(土)	10:00~	地下鉄真駒内駅	主催
夏の森の観察会	8月11日(日)	10:00~14:30	8月10日(土)	10:00~	野幌森林公園公園 ふれあい交流館前	協力
利根別自然観察会	8月25日(日)	10:00~12:00	8月24日(土)	10:00~	岩見沢利根別公園 大正池駐車場	主催
野幌自然観察の集い	9月8日(日)	10:00~12:00	9月7日(土)	10:00~	野幌森林公園公園 森の自然教室前	主催
9月の森の観察会	9月19日(木)	10:00~12:00	9月12日(木)	10:00~	野幌森林公園公園 開拓記念館前	協力
北見自然観察会	9月22日(日)	10:00~12:00	9月21日(土)	13:30~	北見市 若松休養センター	主催
然別湖宿泊研修	10月5日~10月6日			13:00~	ホテル福原	
秋の森の観察会	10月20日(日)	10:00~14:30	10月19日(土)	10:00~	野幌森林公園公園 ふれあい交流館前	協力
ありがとう観察会	11月10日(日)	10:00~14:30	11月9日(土)	10:00~	野幌森林公園公園 ふれあい交流館前	共催
12月の森の観察会	12月19日(木)	10:00~12:00	12月12日(木)	10:00~	野幌森林公園公園 開拓記念館前	協力
冬の森の観察会	2月9日(日)	10:00~14:30	2月9日(土)	10:00~	野幌森林公園公園 ふれあい交流館前	協力
早春の森の観察会	3月23日(日)	10:00~12:00	3月22日(土)	10:00~	野幌森林公園公園 開拓記念館前	主催

前回の会報「エゾマツ」の自然観察会予定表に時間と場所の誤りがありましたので訂正します。
 7月の森の観察会の集合場所がふれあい交流館になっていますが、開拓記念館の間違いです。
 夏の森の観察会の集合場所が開拓記念館前になっていますが、ふれあい交流館の間違いです。
 夏の森の観察会の時間が12:00までになっていますが、14:30の間違いです。
 上記が訂正した観察会の予定表です。皆さんに迷惑をおかけして大変申しあげありませんでした。

富良野原始が原自然観察会のお知らせ

北海道ボランティアレンジャー協議会主催の自然観察会を富良野原始が原に於いて開催します。

日時 6月30日(日曜日) 午前9時～12時

集合場所 原始が原登山口 ニングルの森

前日に観察会の下見を行います。6月29日(土曜日)、13時より下見を行い、そのご懇親会を開催します。登山口にある山小屋に宿泊しますので、宿泊の準備をしてきてください。食器、コップ、箸なども持参願います。なお当日、札幌より相乗りして行きますので、車のない方で参加希望の方は連絡ください。他の地域のかたで参加希望の方、富良野駅より送迎しますので連絡ください。当日の懇親会および、朝食については集まった会員間で相談して買い出し等決めたいと思います。隠し財産大いに歓迎。

連絡先 研修部長 小林英世 0123-36-3944 恵庭市恵み野東5丁目3-1

現地連絡先 南部栄一 0167-22-3953 富良野市緑町15-14

中山和恵 0167-27-2008 富良野市東山アカシア

北見自然観察会のお知らせ

北見市若松休養センター近郊に於いて、北海道ボランティアレンジャー協議会主催の自然観察会をオホーツク支部の全面協力により行います。

日時 9月22日(日曜日) 午前10:00～12:00

集合場所 北見市若松休養センター前

場所 北見市若松休養センター及びその周

前日に観察会の下見と研修会と懇親会を行います。

9月21日(土曜日)

集合場所

- ・ 列車で来る方 午後12:30 北見駅(若松休養センターまで車にて送迎)
- ・ 車で来る方 午後13:00 若松休養センター前(北見駅からの送迎をお願いする可能性あり。)

宿泊場所 自然休養村センター・山の家 北見市若松651 (0157) 25-9675

宿泊料金 6000円程度を予定しています。

問い合わせ、申し込み、連絡先 研修部 小林 0123-36-3944

オホーツク支部 和泉 勇 0157-22-2359

* 然別湖宿泊研修については、後日はがきで詳細を連絡します。

9月21日(土曜日)「講習会」日程

午後1時30分 若松休養センターにて受付

午後1時40分 道有林に自然観察会の下見へ出発

午後3時00分 下見終了 若松休養センターへ戻る

午後3時30分 講習会 (ラグポート集合)

「オホーツク海の妖精クリオネ」担当 和泉

午後5時00分 講習会終了

午後5時10分 自由行動(温泉に入ってくつろいでください)

午後6時00分 夕食(懇親会)

午後8時30分 懇親会終了

午後8時40分 明日の日程確認

9月22日(日曜日)「観察会」日程

午前7時00分 起床

午前8時00分 朝食

午前9時00分 帰宅準備

午前9時30分 観察会受付準備及び受付

午前10時00分 観察会

午後12時00分 観察会終了 解散

編集後記

◆今年の春は気温の高さから、あっという間に過ぎ去っていきました。森は木の葉が繁り初夏のたたずまいです。森の精気を吸いながら自然の恵みを全身に受け活動を進めていきましょう。

◆今年度は会の活動経過を詳しく報告することとしました。そのための準備をしていて、次号よりお知らせするつもりです。また、本号は4月の定期総会に都合で参加できなかった皆さんのために議案書を掲載しました。

◆会の運営について、また「エゾマツ」についての意見・要望を是非聞かせてほしいものです。どんなことでも結構です。そのことが会の活性化につながっていきます。

投稿先 001-0020 札幌市北区北20条西8丁目-18

稲葉 孝徳 (広報部長)

007-0811 札幌市東区東苗穂11条2丁目-14-18

田村 允郁 (事務局)

北海道ボランティア・レンジャー協議会
会報誌「エゾマツ」No.61 2002. 6. 26 発行
発行責任者 川 端 功 治